



## 平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 情報企画  
コード番号 3712 URL <http://www.jyohokikaku.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松岡 仁史  
(氏名) 橋本 政幸

TEL 06-6265-8530

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第3四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,766	34.1	491	54.8	470	47.6	293	55.8
26年9月期第3四半期	1,317	9.0	317	25.2	318	25.1	188	19.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	77.26	—
26年9月期第3四半期	46.58	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年9月期第3四半期	3,065		2,109		68.8
26年9月期	3,526		2,644		75.0

(参考)自己資本 27年9月期第3四半期 2,109百万円 26年9月期 2,644百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	10.00	—	15.00	25.00
27年9月期	—	18.00	—		
27年9月期(予想)				18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	14.8	550	14.9	550	14.7	330	15.9	81.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	4,090,000 株	26年9月期	4,090,000 株
27年9月期3Q	740,074 株	26年9月期	40,074 株
27年9月期3Q	3,803,772 株	26年9月期3Q	4,049,947 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成26年10月1日から平成27年6月30日の9ヶ月間）におけるわが国経済については、円安と株価の上昇基調は変わらず、生産や個人消費を中心に順調に景気回復が続いています。

このような景気回復を受けて、当社の主要な販売先である金融機関におきましては、全国の銀行貸出残高が46ヶ月連続して前年同月比増加しており、資金需要は伸びています。金融機関の平成26年度の決算を見ても経常利益は6年連続して増益となっており、設備投資に対する意欲も改善していると見られます。

当第3四半期累計期間の売上高につきましては、「システム事業」は、システム開発に係る「システムインテグレーション部門」が前年同期比著しく伸び、システムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」も増収となったことから、全体でも前年同期比大幅増収となりました。営業利益につきましては、「システムインテグレーション部門」における大型案件開発に伴い、デジタル地図等の材料費増加や外注費増加など製造原価の増加はあったものの、前年同期比大幅増益となりました。

「不動産賃貸事業」につきましては、平成26年12月に新たな賃貸用不動産を購入し、賃貸収入を計上している売上高は前年同期比増収となっております。しかしながら、不動産購入に係る一時的経費増があり営業利益は前年同期比減益となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,766,545千円（前年同期比34.1%増）、営業利益は491,898千円（同54.8%増）、経常利益は470,311千円（同47.6%増）、四半期純利益は293,882千円（同55.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

## ①システム事業

## 「システムインテグレーション部門」

「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関、地方銀行をはじめ信用金庫まで幅広く、かつ大型案件を受注し、売上高を計上したため前年同期比著しい増収となりました。また「法人格付システム」、「決算書リーディングシステム」、「契約書作成支援システム」なども地方銀行や信用金庫を中心に売上げ、前年同期比大幅増収となったほか、「反社会的勢力情報チェックシステム」は信用組合を中心に多数の納品を行いました。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、984,686千円（前年同期比79.2%増）、セグメント内の売上高構成比は58.4%となりました。

## 「システムサポート部門」

多数のシステム導入によりメンテナンスの売上高は前年同期比増収となり、代行入力のコスト削減をカバーし全体としてシステムサポート部門の売上高は、702,568千円（前年同期比1.2%増）、セグメント内の売上高構成比は41.6%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は、1,687,254千円（前年同期比35.7%増）、セグメント利益は484,267千円（同56.7%増）となりました。

## ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、平成26年12月に新たに賃貸用不動産を購入し、賃貸マンション1棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計4物件となり、不動産賃貸事業の売上高は79,291千円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は7,630千円（同10.5%減）となりました。前年同期比減益となった理由は、不動産購入に係る一時的経費増によるものです。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ828,625千円減少し、1,427,273千円となりました。これは主に自己株式取得に伴う現金及び預金の減少によるものです。固定資産は前事業年度末に比べ、368,273千円増加し、1,638,715千円となりました。これは主に土地及び建物の増加によるものです。この結果、資産合計は前事業年度末に比べ460,351千円減少し、3,065,989千円となりました。

## (負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ75,214千円増加し、956,976千円となりました。これは主に未払金の増加と、未払消費税等並びに賞与引当金の減少によるものです。

## (純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ535,565千円減少し、2,109,012千円となりました。これは主に自己株式の取得によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、円安による物価上昇や株式市場の乱高下による影響が懸念されますが、生産や消費などの実体経済の回復から、景気はまず順調に推移すると考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関に対しシステム投資への意欲を呼び起こすことができるようにニーズを捉えて新規案件を掘り起こし、受注に結び付けるきめ細かい営業を行っていく考えです。

平成27年9月期におきましては、売上高2,100,000千円（前年同期比14.8%増）、営業利益550,000千円（同14.9%増）、経常利益550,000千円（同14.7%増）、当期純利益330,000千円（同15.9%増）と予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,773,511	1,004,719
売掛金	396,219	361,520
仕掛品	44,655	24,740
繰延税金資産	28,750	17,365
未収収益	2,912	7,043
その他	9,850	11,884
流動資産合計	2,255,898	1,427,273
固定資産		
有形固定資産		
建物	723,703	785,802
減価償却累計額	△75,234	△99,217
建物(純額)	648,469	686,585
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△922	△1,370
構築物(純額)	3,283	2,835
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△29,160	△40,622
機械及び装置(純額)	45,894	34,431
工具、器具及び備品	58,509	58,017
減価償却累計額	△54,028	△54,123
工具、器具及び備品(純額)	4,481	3,894
土地	463,744	807,318
有形固定資産合計	1,165,873	1,535,065
無形固定資産		
ソフトウェア	12,158	15,039
その他	1,116	1,116
無形固定資産合計	13,274	16,155
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	14,393	9,982
会員権	20,650	20,650
差入保証金	46,249	44,862
その他	—	2,000
投資その他の資産合計	91,293	87,494
固定資産合計	1,270,442	1,638,715
資産合計	3,526,340	3,065,989

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,353	46,905
未払金	69,957	156,999
未払消費税等	68,982	29,764
未払法人税等	112,502	92,993
前受収益	298,275	307,059
賞与引当金	54,989	22,080
製品保証引当金	2,571	949
受注損失引当金	—	1,291
その他	7,847	17,329
流動負債合計	658,481	675,374
固定負債		
役員退職慰労引当金	216,805	229,016
長期預り保証金	6,475	52,585
固定負債合計	223,280	281,601
負債合計	881,762	956,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,006,512	2,179,346
利益剰余金合計	2,008,328	2,181,162
自己株式	△55,550	△763,950
株主資本合計	2,644,578	2,109,012
純資産合計	2,644,578	2,109,012
負債純資産合計	3,526,340	3,065,989

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,317,669	1,766,545
売上原価	609,883	881,387
売上総利益	707,785	885,158
販売費及び一般管理費	390,123	393,260
営業利益	317,662	491,898
営業外収益		
受取利息	420	330
還付加算金	276	—
未払配当金除斥益	260	170
その他	—	18
営業外収益合計	956	519
営業外費用		
自己株式取得費用	—	22,105
営業外費用合計	—	22,105
経常利益	318,618	470,311
特別損失		
固定資産除売却損	1	—
ゴルフ会員権評価損	264	—
特別損失合計	265	—
税引前四半期純利益	318,353	470,311
法人税、住民税及び事業税	81,825	160,634
法人税等調整額	47,877	15,795
法人税等合計	129,702	176,429
四半期純利益	188,650	293,882

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式700,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が708,400千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が763,950千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,243,653	74,015	1,317,669
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,243,653	74,015	1,317,669
セグメント利益	309,135	8,526	317,662

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

## II 当第3四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,687,254	79,291	1,766,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,687,254	79,291	1,766,545
セグメント利益	484,267	7,630	491,898

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。